

総時間数	教科	時間数	科目	内容	時間数	
324	その他	0	入校式、修了式			
		12	就職支援		12	
	174	学		多様なサービスの理解	・介護保険サービス(居宅、施設) ・介護保険外サービス	3
				介護職の仕事内容や働く現場の理解	・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ ・ケアプランの位置付けに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ、他職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源との連携	9
				人権と尊厳を支える介護	・人権と尊厳の保持、ICF、QOL、ノーマライゼーション ・虐待防止・身体拘束禁止、個人の権利を守る制度の概要	9
				自立に向けた介護	・自立支援、介護予防	3
				介護職の役割、専門性と多職種との連携	・介護環境の特徴の理解、介護の専門性、介護に関する職種	6
				介護職の職業倫理	・専門職の倫理の意義、介護の倫理(介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等)、介護職としての社会的責任、プライマシーの保護・尊重	3
				介護における安全の確保とリスクマネジメント	・介護における安全の確保、事故予防、安全対策、感染対策	3
				介護職の安全	・介護職の心身の健康管理	6
				介護保険制度	・介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ・仕組みの基礎的理解 ・制度を支える財源、組織、団体の機能と役割	6
				障害者総合支援制度及びその他の制度	・障がい者福祉制度の理念 ・障がい者総合支援制度の仕組みの基礎的理解 ・個人の権利を守る制度の概要	3
				医療との連携とリハビリテーション	・医行為と介護、訪問看護、施設における看護と介護の役割・連携、リハビリテーションの理念	9
				介護におけるコミュニケーション	・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割 ・コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーション ・利用者・家族とのコミュニケーションの実践 ・利用者の状況・状況に応じたコミュニケーション技術の実践	6
				介護におけるチームのコミュニケーション	・記録における情報の共有化 ・報告 ・コミュニケーションを促す環境	6
				老化に伴うところからだの変化と日常	・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響	6
				高齢者と健康	・高齢者の疾病と生活上の留意点 ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点	6
				認知症を取り巻く状況	・パーソンセンタードケア、認知症ケアの視点	3
				医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	・認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理	3
				認知症に伴うところからだの変化と日常生活	・認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴 ・認知症の利用者への対応	3
				家族への支援	・認知症の受容過程での援助、介護負担の軽減	3
				障がいの基礎的理解	・障がいの概念とICF ・障がい者福祉の基本理念	2
				障がいの医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	・身体障がい、知的障がい、精神障がい ・その他の心身の機能障がい	2
				障がいの理解、障がいの受容支援、介護負担の軽減	・障がいの理解、障がいの受容支援、介護負担の軽減	2
				介護の基本的な考え方	・倫理に基づく介護、法的根拠に基づく介護	3
				介護に関するところからだのしぐみの基礎的理解	・学習と記憶の基礎知識、感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因、ところの持ち方が行動に与える影響、からだの状態がこころに与える影響	3
				介護に関するからだのしぐみの基礎的理解	・人体の各部の名称と動きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用、中枢神経系と体性神経系に関する基礎知識、自律神経と内部器官に関する基礎知識、ところからだを一體的に捉える、利用者の様子の普段との違いに気づく視点	6
				生活と家事	・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎的知識と生活支援	3
				快適な居住環境整備と介護	・快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法	6
		死にゆく人に関したところからだのしぐみと終末期介護	・終末期に関する基礎知識とところからだのしぐみ、生から死への過程、「死」に向き合うこころの理解、苦痛の少ない死への支援	3		
		介護課程の基礎的理解	・介護過程の目的、意義、展開、介護過程とチームアプローチ	12		
		振り返り	・研修を通して学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理、社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等)	12		
		就業への備えと研修終了後における継続的な研修	・継続的に学ぶべきこと ・研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるように事業所等における実例(OF-JT、OJT)を紹介	6		
		総合テスト		3		
	138	実	138	総合に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	・整容に関する基礎知識、整容の支援技術	12
				移動・移乗に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	・移動・移乗に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護 ・移動・移乗に関する基礎知識さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害することからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援	12
				食事に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	・食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用法と食事形態とからだのしぐみ、楽しい食事を阻害することからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援	6
				入浴、生活保持に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	・入浴・清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用法、楽しい入浴を阻害することからだの要因の理解と支援方法	9
				排泄に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	・排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用法、爽やかな排泄を阻害することからだの要因の理解と支援方法	12
				睡眠に関連したところからだのしぐみと自立に向けた介護	・睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用法、快い睡眠を阻害することからだの要因の理解と支援方法	18
				総合生活支援技術講習	・生活の各場面での介護については、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す ・施設実習	69
		書類作成と情報処理		15		